

# Der Hafen (港)

未曾有の東日本大地震に際し、尊い生命を失われた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被害をこうむられた多くの関係者に対しお見舞い申し上げます。第二次大戦後の廃墟から見事に立ち上がり、世界の経済大国に発展させた日本人の不屈の精神と知恵が、必ずや今回の災害復興にも発揮されることと信じます。

横浜日独協会会員一同

### 2月講演会 織田正雄氏の「ベルリンの壁崩壊前後」

会員 早瀬 純



ベルリンの壁崩壊前後の熱狂を記録した貴重なドキュメンタリー映像と、「あの群衆の中に私もいました。」と語る織田顧問の臨場感溢れる解説。西ベルリンに押し寄せたトラバンドから剥がれ落ちた破片も見せて頂き、講演会は非常に興味深いものでした。

(筆者)

私にとってベルリンは、91年に当時の勤め先からドイツ銀行にトレーニー派遣された際、幸運にも研修地として割り当てられた土地です。壁崩壊からわずか1年余なのに、既に熱狂は去り、人々がドイツ再統一事業において圧しかかってくる重たい現実を真剣に議論していたのをよく覚えています。

しかし、今回織田顧問に見せて頂いたあの熱狂がなければ、ドイツ再統一はありませんでした。爆発的な民衆の力。事態を收拾できる強い指導者。ドイツ再統一を許容する国際情勢。これら3つが奇跡的に揃ったから達成できたのだと思います。

歴史のチャンスを掴み、再統一事業を成し遂げたドイツ国民とその指導者に賛辞を贈るとともに、貴重な映像資料を見せて頂いた織田顧問に感謝申し上げたいと思います。

\*\*\*\*\*

#### 会費納入のお願い

4月横浜日独協会は新年度を迎えました。2011年度の会費の納入をお願い致します。昨年会費1年分を納入された方は本年度の会費は下期のみの半額となりますので、個人会員は1,500円、家族並びに学生会員は1,000円です。下記口座へお振り込みをお願いします。

横浜銀行横浜駅前支店 (店番号 383)

普通預金口座 6052634

口座名 横浜日独協会

### 「足を引っ張る日本人、国益重視のドイツ人」

横浜日独協会会長 早瀬 勇

日本の総理は、戦後2年半に一人の割合で交代しているが、外務大臣はもっと早く平均一年半で辞めている。国益を守る最高責任者の首相や外相が、日本のようにコロコロ変わるようでは相手国から交渉相手として信を置かれぬ。国会の論戦でも、政策論を離れ言葉尻をとらえて閣僚を謝らせたり、国会議員の資格がないと辞職を迫ったりして重要案件を先送りする。外交交渉に支障をきたし、国際協調路線に乗り遅れ、国益が損なわれても、何とか政敵の足を引っ張って政局に持ち込もうとする古いタイプの国会議員がまだかなりの割合を占めている。詰まる所、選んだ選挙民の民度が低いのだが・・・。

ドイツでは、少数政党FDP(自由民主党)のH-D. ゲンシャー氏が18年間外相を務め(日本の7人分)、冷戦後の世界で大きな役割を果たし、ドイツの国際的地位の向上にも貢献した。私がデュッセルドルフからフランクフルトに転勤した1974年、キャスティング・ヴォートを握ったFDPはシュミット首班(SPD)と連立を組み、ゲンシャーは副首相兼外相になった。出身母体が小党で、就任当初「外国語ができない外相」などと週刊誌に書かれたゲンシャーだったが、どうしてどうして中々の外交手腕を発揮。国連総会では、人質犯の要求に応じない対テロ決議案を提案、可決させたし、ワレサが率いるポーランドの民主化運動を後押しし、また1989年チェコ首都プラハのドイツ大使館に逃げ込んだ東独市民四千人を前に、西独が受け入れることをバルコニーの上から宣言してドイツ再統一を加速させた。単一欧州議定書策定を進めた一人でもあった。

横浜日独協会のホームページ

URL: <http://jdgy.sub.jp/index.htm>



♪3月の川口マーン恵美氏の講演「ドイツ人と日本人、似ているところと違うところー日本人は性善説で暮らしている！」を聞いて♪

会員 南雲淑子

私は、1985年から4年間、1998年から4年間、2003年から1年間の3回にわたり、ドイツのデュッセルドルフに家族で滞在していましたので、川口さんのお話は自分の事のように感じ、何度も何度もうなずきながらお話を伺いました。私のドイツ滞在中に日本に駐在経験のあるドイツ人から「日本はアジアの中のドイツだ」と言われたことがあります。川口さんもドイツと日本の似ているところとして、次の点をあげています。①戦後の復興（敗戦国でありながら世界2位、3位の国となった）②勤勉さ③義務教育の底辺の高さ（知的インフラ）。ところが最近の20年でドイツと日本は違って来ていると言うことです。ドイツは発言力があり、他国から信頼され頼りにされている。軍事的にも負担をし貢献している。それに対して日本は良い物を作るが交渉力や他国を圧倒する会話力がない。外国に興味を持たない若い人が多くなっている等です。



（講師を囲んで、筆者は後列向かって右側）

丁度この日は東日本大震災の次の日で、川口さんは非常時の日本人の対応を観察し、静かに並んで何時間も待つ事、コンビニなどの商店の商品の値段が全てそのままの事（外国だったら、水や食料品が高くなったり、略奪が起こったりする）、情報も多く発信され車内アナウンスも親切な事等、日本人の良さが良く解ったという事でした。攻撃的なところがなく思いやりのある日本人としての特性は、サービス業においてすぐれています。特に鉄道と宅急便のシステムは素晴らしいサービスです。ドイツの郵便局でつい日本の感覚で日にちと時間指定で品物を頼んでドイツ人から大きな声で「そんな事出来るはずがない！！あなたは何を言っているのか？」と言われ「ああ、ここはドイツだ」と自覚したそうです。

ところが日本人の良さであるおだやかさ、協調性は自己主張をしないと認められない国外ではマイナスとなっているので、これからの日本は学校教育で会話力や交渉力を身につけるようにすべきである、という結論には私も大賛成です。私がデュッセルドルフでドイツ語を習った時、仲間の生徒達は、イギリス人、イタリア人、スペイン人、アメリカ人等多国籍でしたが皆自己主張が強く、日本人はたじたじでした。

政治、文化、教育等のテーマで自国の事を話すのですが日本人以外は自国の良いところをアピールするのに、日本人の私達はいつもつい否定的なことばかり言ってしまい、日本の良さをなかなか言えませんでした。でも、ドイツで暮らしているうちに、だんだんと私も自己主張が出来るようになりました。ドイツ人の良いところを見習いつつさらに日独交流を深めていきたいと思います。（了）

\*\*\*\*\*

「行事予定」

①4月14日（木）歓迎懇親会

独日協会の会員が来訪、横浜鎌倉の観光予定です。夕方6時から8時の予定で、稲村ヶ崎のレストラン「ペーター」で懇親会を開きます。

会費 2,500円（飲み物は別料金）

参加ご希望の方は事務局へご連絡下さい

②4月23日（土）18:00～20:00 講演会

「福島第一原発事故を正しく理解するために」

講師 松野 義明氏 湘南日独協会副会長

オーストリア原子力研究所、日本原子力研究所等長い間原子力の研究開発そして各種の国際プロジェクトに関わっておられる専門家に、現在世界中が注視している福島原発事故、放射能の関心事を解りやすく解説して頂きます

会場 江ノ電第2ビル（7F） 藤沢駅前

会費 1,000円

③5月9日（月）日独交流150周年記念音楽会

会場 鎌倉芸術館小ホール（大船駅）

開演 18:30 前売り 1,000円

湘南日独協会主催、横浜日独協会他の後援

④5月21日（土）～7月31日（日）日独共同写真展

「歴史と未来を紡いで」共同通信社とドイツ通信社

（dpa）の合同写真展 横浜日独協会後援 入場無料

会場 日本新聞博物館（横浜日本大通り）

⑤7月2日（土）横浜日独協会設立記念音楽会

会場 フェリス女学院ホール（山手）

開演 14:00（予定）

詳細は決定次第お知らせ致します

\*\*\*\*\*

お知らせ

○4月21日の昼食講演会中止

在ドイツ大使館プリンツ公私をお迎えしての会は公使の職務上のご都合で中止となりました。

○会報の名称はDer Hafen（港）と決まりました。応募の中で一番多く寄せられました。最初に届いたのが早瀬勇氏からでしたので、早瀬勇会長が名付け親Der Pateとなりました。名前の付いた会報をどうぞ宜しくお願いします。

編集後記

横浜日独協会の会報がDer Hafenとして第2号の発行となりました。編集する者として責任を重く感じています。皆様のご協力をお願い致します。（大久保）